

誰もが優しさ
を感じられる
まちづくり

医療現場への「やさしい日本語」 導入・普及事業

総事業費

0.9 億円程度
(2年間)

病院の難しい言葉に戸惑ったことはありませんか？相手に合わせて分かりやすく伝える「やさしい日本語」の技を医療者に修得してもらうプロジェクトです。
外国人も聴こえや理解に自信のない方も、誰もが安心して医療を受けられます。



- 医療者と外国人住民が共に学ぶ研修会開催
- 研修会参加者が同僚に広める活動の支援
- 忙しい医療者のためのYouTube動画作成
- 医療現場のやさしいコミュニケーション「シナリオコンテスト」
- 都内の大学医学部・看護学部等への授業導入支援

事業の
SNS発信

医療現場への「やさしい
日本語」導入・普及

都民の誰もが安心して
医療を受けられる環境

医療が充実し健康に暮らせるまちづくり

やさしい日本語のイメージ

常用薬があったら教えてください
⇒ 毎日、薬を飲みますか？
それは何ですか？

コツ 漢語より和語

コツ 一文を短く



さまざまな人が共に暮らし
支え合える東京

事業内容の詳細

○ 実は医療者も悩んでいます：英語が苦手だから、外国人の患者さんが来たら困る

- 東京に住む外国人55万人の多くは日本語で生活しており、英語よりも**日本語の方が通じます**。「やさしい日本語」により、外国人も受診しやすく、医療通訳者も通訳しやすくなります。でも「やさしい日本語」を知っている医療者はわずかです。

○ 「やさしい日本語」の普及により医療現場のコミュニケーションをより良くします

- そこで、私たちは忙しい医療者がそのコツを学ぶ方法を考えました。外国人住民と**共につくる医療者向け研修会**やYouTube動画の作成、シナリオ・コンテストを実施し、SNSで発信。「やさしい日本語」を医療現場で広めていきます。

期待する効果

「やさしい日本語」の普及により、医療現場の**コミュニケーションが改善**され、都民の誰もが安心・安全な医療を受けることができるようになります。